

記者発表資料

平成 21 年 9 月 30 日

財団法人横浜企業経営支援財団

産学連携課長 長谷部 亮 TEL:225-3733

## 財団法人横浜企業経営支援財団

# 北陸のシーズを横浜に！「医薬農商工」で連携 本日、国立大学法人金沢大学との産学連携協定書を締結

(財)横浜企業経営支援財団(理事長 清水利光) IDEC は、横浜市内企業の経営を支援する唯一の公的支援機関として、総合的・継続的な支援体制による事業を積極的に展開しており、昨年度からは経営支援体制の充実・強化を図るため、金融機関(3メガを含む6金融機関)や関係機関と戦略的業務提携を締結しています。また、IDECは市内理工系9大学とのネットワークの他に市内企業と全国の大学の知を結びつける**広域大学ネットワーク**を構築しつつあります。これまで、市外大学(東海大学)、県外大学(早稲田大学、同志社大学、関西大学、関西学院大学、山口大学、高知大学、立命館大学、広島大学、鹿児島大学、岩手大学)海外大学(タイ:モンクット王ラカバン工科大学)＝計12校と産学連携協定を締結してまいりました。

本日、IDECは北陸地区の大学との連携は初となる**国立大学法人金沢大学**と産学連携に関する協定書を締結いたしました。

金沢大学は、1862年に設立された加賀藩種痘所を源流とし、1949年(昭和24年)に新制大学として誕生しました。北陸の中心に位置し、日本海側の基幹大学というべき国立の総合大学であり、以前は古都金沢らしく金沢城址にキャンパスがある大学として有名でした。現在は「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を理念として改革に取り組み、2008年4月より8学部を人間社会学域、理工学域、医薬保健学域の3学域・16学類に改組して「進化した金沢大学」を目指しています。

金沢大学を擁する石川県は、建設機械、繊維機械を主とする機械工業が盛んな地域であり、また繊維工業も有名で、合繊では世界的な産地を形成しています。また、山海の豊かな自然に恵まれ、加賀百万石の伝統ある食文化が今も継承されています。

連携の窓口となるのは2008年に設立されたイノベーション創成センターで将来開拓部門、連携研究推進部門、知的財産部門、起業支援部門から構成されています。「事業化」「地域」「人材育成」の3点を特色として、地域ニーズシーズの発掘から具現化、特に事業化を強調した取り組みを行っています。そのセンターの取り組むテーマとして金沢大学の伝統ある医学、薬学分野をベースとした「医商工」連携、石川の農と食に目をつけた「農商工」連携があり、これら分野で横浜企業とのマッチングを図ります。さらに財団と大学を介した横浜・石川/金沢企業間の産産連携も想定しています。

この連携により金沢大学が保有する知的財産を、横浜市内企業をはじめとする企業の技術力に結びつけることで、新たな産業の創出や新技術・新製品の開発等の支援を積極的に行います。大学の各種シーズを横浜企業に紹介することで、大学にとっては地元のみならず首都圏の企業に活用してもらう足掛かりとなり、企業にとっても新たなチャンスが生まれます。一方で、財団の持つ金融ネットワークを活用して、首都圏で事業化を目指す地方大学発ベンチャー企業を対象とした各種サポートを行うことも可能となり、地域を超えた連携の創出を図ります。

経営支援団体としては全国初の広域的産学官連携システム(広域大学ネットワーク)のさらなる拡充に向けた金沢大学との連携は、北陸地区展開 第1弾、国立大学との連携としては第6弾となる締結です。近々、北海道の国立大学へもネットワークを広げ、全国的支援体制を構築し、市内中小企業が抱える経営課題の解決及び企業経営の安定と発展に向けて各種事業を強力に推進してまいります。

## ■ 横浜企業経営支援財団 (IDEC) と金沢大学との主な協議事項

### (1) 金沢大学の横浜市をコアにした首都圏における産学官連携の推進

金沢大学が保有する技術シーズの市内企業への活用支援を目指した研究推進体制の編成、ならびに知財の流通や新たな技術開発を促進し、産学官による地域連携を推進します。

### (2) 金沢大学シーズと横浜市内企業とのマッチング

- ① IDEC主催の産学交流サロンで金沢大学の研究シーズを定期的に紹介します。
- ② 双方がそれぞれ進める農工連携事業のマッチングを促進します。
- ③ 金沢大学の誇る医学、薬学・創薬シーズをIDECが運営するバイオ産業集積地「鶴見末広センター」入居企業にプロモーションします。
- ④ 金沢大学特許出願案件を市内企業に紹介します。
- ⑤ 財団が運営するテクニカルショウヨコハマ・産学連携ブースで金沢大学の研究活動を紹介します。
- ⑥ IDECと金沢大学が核となり横浜企業と石川/金沢企業の連携を促進します。
- ⑦ 上記を実現するため金沢大学の産学コーディネーターと横浜市技術リエゾンプロデューサー (ILP) との会議を定例的に実施します。

### (3) IDECが保有する産学官－金融連携ネットワークの活用

財団が進める知財マネジメント支援機構や金融機関との戦略的提携による産学官－金融連携ネットワークの構築を通じて、産学連携の機会創出から技術評価、融資までのワンストップ支援を行います。また、金沢大学が「横浜産学リエゾン会議」(国内連携20大学を中心とする産学連携事務局ネットワーク)に参加し、財団のネットワークの拡大・強化をはかります。

### (4) 金沢大学横浜サテライトオフィスの設置 (IDEC横浜産学連携サテライトの利用)

財団運営の横浜産学連携サテライトに金沢大学の横浜サテライトオフィス機能を持たせることにより、金沢大学と市内企業とのアクセスを容易にします。

大学発ベンチャーの立ち上げ初期に対して、知財・技術経営を含めた総合的な経営支援を行います。

IDEC・金沢大学連携図

